

ヤマハニュース2

YAMAHA NEWS NO.344 1992

特集●販売店活動ルポ

突入!春商戦ウォーミングアップ!!

列島ぐるり●こんにちはヤマハ紀行①

尾道 坂道の町に根付く生活レベルの
モーターサイクル文化

NEW MODEL●イメージアップヤマハモーターサイクル

**DT200WR/TZR50/
JOGトランク**



突入!

戦ウォーミングアップ!!

シベリア寒気団も日に日に衰えて、春が暖気運転を開始しています。
この時期、最大の活動は、徹底した商圈の見直しによる見込み客をピックアップ。
積極的な姿勢で打って出て、需要を活性化させる時です。
C2大作戦の真価を発揮させ、新規、代替、買増しなど、有力見込み客を掌握、
一年をうらなう重要な時期といえます。
そこで今号は、お客さまとのコミュニケーションを育て、販売実績アップに
チャレンジする販売店さんをお訪ねしました。春商戦ウォーミングアップのご参考にどうぞ。





特集 ■ 販売店活動ルポ

春商

チラシDM、クチコミ ポイントを絞って有効活用

顧客特性、商圏特性を読んだアプローチと心を込めたサービスで
地元密着をめざすYSP戸塚(三浦政春店長)



BIG VOCSで割り出した顧客分布をもとに、折り込みチラシの配布場所を決める

新興住宅地に根づき始めた YSP戸塚の商圏特性

横浜へのベッドタウンとなるマンションが立ち並び、また、日立製作所の大きな工場があるためにその社員住宅や独身寮がそこかしこに点在するJR戸塚駅周辺。

「YSP戸塚」さんは、その駅から徒歩で10分ほど離れた、国道1号線・旧道沿いに5年前オープンした。
「ウチは、新興住宅地の、まだ新しい店ですから、最近ようやく地元になじんできたかな、という感じですね」と三浦店長。

商圏はスクーター、スポーツとも半径およそ3km。総販売台数の7割をスクーターが占めている。

「本当は、まんべんなく売りたいんです。ただ、ここは国道1号線の新道を除いて道幅が狭く、戸塚駅を起点にバ

スの本数もすごく多いので、朝夕は特に渋滞が激しい。だから、スクーターは高校生や社会人、主婦など幅広い層に需要が高いんですよ。

スクーターは、日立に勤める男性客が中心になっています」

また、商圏を地図にして分析するうち、さらにいくつかの特徴がわかってきた。そのひとつは、スクーターの高校生客がきわめて多いこと。

「スクーターのお客さんのうち、8割くらいが高校生なんです。それも、いわゆる地元商圏外の高校が大半を占めています。JR東海道線や国道1号線沿いに、厚木や鶴見、平塚のほうまで広がっている」

親子づれでやってきて、親がなぜここまで来る必要があるのか不思議がることも度々あるという。

そして特徴のもうひとつは、地域的

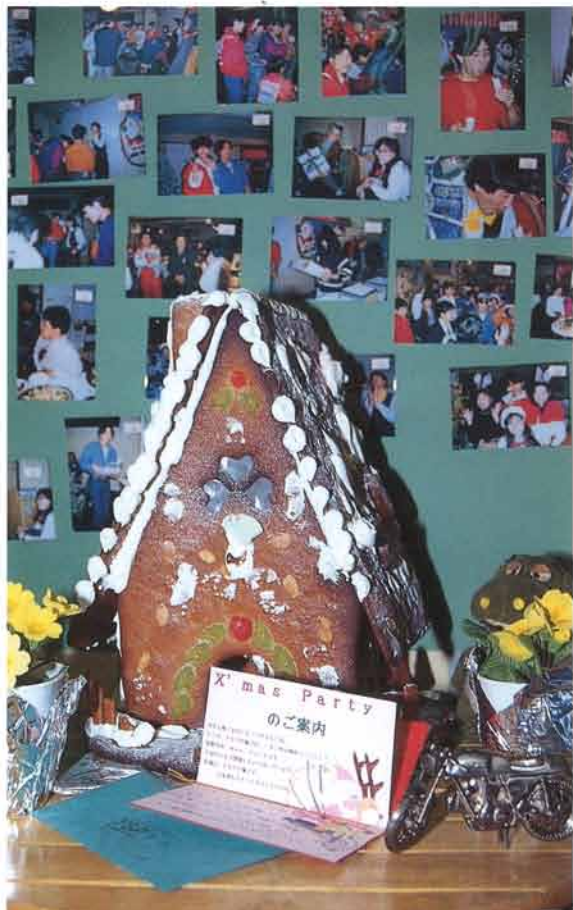
な弱点。商圏の北側を横切るJRの線路と国道1号線・新道で隔られた向う側は、ほとんどスクーターのお客さまを獲得できていなかったのだ。

「スクーターは問題ないんだけど、スクーターになると新道と鉄道が、ベルリンの壁、みたいにお客さんをさきぎっていたんです。今後の課題ですね」

店のま、ころを感じるから「あの店にまた行きたい」

三浦店長がめざしているのは「また行きたい」と思われる店づくり。そのために、豊富な品揃え、入りやすい店舗演出、接客の心配りなど、お客さまの満足度を高める工夫に労を惜しまない。

50円のネジ一本でも、きちんと袋に入れて手渡す、電話は必ず2度鳴ったあとに取る(1度で取ると、相手を驚



クリスマスパーティは、1年の感謝をお客さまに現すと同時に、次の春商戦へのタネまきでもある



「売る、より、買ってもらう」という姿勢が全スタッフに浸透している

特集 ■ 販売店活動ルポ 突入！ 春商戦ウォーミングアップ！！

かすこともある）、といった細かな配慮にそれが現れている。

「技術サービス力は、バイク屋としてあって当然。その高さを打ち出すより、DMで点検の必要性を知らせるほうが大切だと思うんです」というのもまた、バイクが壊れたり、不調になる前に予防しようとする気づかいのひとつだろう。

だからこそ、高校生たちの「おすすめ」の店として情報が広く伝わり、遠くから足を運ばせているし、主婦や社会人まで幅広い客層をしっかりとつかんでいるわけだ。

3月、4月がポイント 新入学、入社の新規層が狙い

三浦店長が新規需要を掘り起こすのに最もよく使うのは新聞折り込みチラシ。

「ウチでは、毎回地域を変えて3万枚くらい配布するんですが、配布したところとしなかったところでは明らかにお客さんの分布に差が出るんで、チラ

シの効果は確かに大きいんですけど、前回、弱点地域がわかったことだし、3月後半のオープン記念セールでは集中的にやろうかと思ってます」

3月は高校の新入学や社会人の異動時期でもあるため、特にスクーター需要を喚起するのに最適。開店記念日は、本当は2月20日なのだが、あえて毎年3月に記念セールを行なっている。

「今年はどうなイベントにするか、まだ決めてませんが、賑やかに盛り上げたいですね。メイン車種はJOGかな。その次は、5月の連休の前、4月にスポーツ車メインでもうひとつセールをしかけます。このあたりは、日立の独身寮が多く、20代後半から30代の人

がけっこう転入してくるので、SRXやSR、ディバイジョンなどアダルト層にウケるモデルで新規、代替えの両方を狙いたいですね」

日頃からの地道な活動を、大きな収穫に結びつける春商戦に向け、三浦店長は、今確かな手応えを感じながら、着々と準備を進めている。

YSP戸塚

横浜市戸塚区吉田町631



●立地：戸塚駅から国道1号線・旧道沿いに徒歩約10分、商店街のはずれに位置する。この周辺は、横浜へのベッドタウンとして、また日立製作所の工場とその社員寮、独身寮が集中する町として転入者の多い新興住宅地となっている。

●商圈：スポーツ、スクーターとも半径約3kmが中心。加えて、JR沿線と国道沿いの厚木、鶴見、平塚の方面に拡大中。

●客層：スクーターは7～8割が高校生、スポーツは日立社員など20代～30代の社会人。主婦層の年配者（40代以上）のスクーター客も多い。

●告知活動：折り込みチラシを年4～6回、3万枚ずつ。DMは定期点検で毎月120～130枚、その他イベント告知など適宜。

基本中の基本!! 点検DMでアプローチ

オープン以来4年、「バイクだけがマックスじゃない!!」をスローガンに主に遊びを通じてお客さまを拡大してきた「YOU SHOP マックス・ヤマシタ」さんが、春商戦を前にしたウォーミングアップは、意外なほどオーソドックスなものだった。

もともとマックスさんは、ツーリングクラブの「MAX FIELD」とバイク以外の遊びで交遊を深める「CLUB MAX」、そして「MTC(マックス・テニス・クラブ)」といった独自のクラブ組織の運営で見込み客を広げてきたお店。当然春の需要期にはビッグイベントを予定しているかと思えば、実はもっとも堅実な方法といわれるDM作戦で春を迎えようとしている。

「いままで店をあげて遊んできたのは、本当の意味で商売をスタートさせるための準備期間でもあったわけです。おかげでクラブ員も200名以上になりました、それ以上に遊びを通して、いろいろな筋にネットワークもできました。だから、今年はいままで築いてきた財産を利用して、収穫を得る一年にしたいと考えているんです。言ってみれば店が第2ステップに入ったというところですか」

と同店の山下晃正さん。

実際の作業としては、昨年同店のイベントに参加された約400名を対象に、年賀状代わりの情報誌「MAXA

M(マグザム)」を送付。内容は91年のイベントダイジェストで、楽しいお店の様子が掲載されている。

さらにその第2弾として、代替見込み客200名に向けて、点検キャンペーンとフロントフォークオイル交換キャンペーンの2種類のDMを発送(1月末)。新車導入期へ向かい、万全の態勢を整えつつある。

「要するに、基本的な作業をつぶさにひとつひとつ積み上げていこうという

ことです。データの抽出にはクラブの名簿や修理伝票などを駆使しました」

シーズオフの交流が
春の来店を促進する

しかし、アプローチの方法こそ違えど、マックスさんの92年はやはり遊びが盛りだくさん。主にスポーツモデルのお客さまを対象とした遊びが目白押しとなっている。
「今年は特にツーリングを中心にスケ



「ショールームの在り方についても、考え直してみたい」と山下さん。展示車両を充実し「華やかに演出したい」という



店頭には出番を待つニューJOGがズラリ並び、表通りへの効果もバツグン

春商戦の懐刀は
「遊び」が生んだネットワーク

オーソドックスなDM作戦で春を待つ
YOU SHOP マックス・ヤマシタ(山下晃正さん)

YOU SHOP マックス・ヤマシタ

広島市中区舟入川口図17-31

- 立地：広島市の陸の玄関 JR 広島駅と、空の玄関広島空港のほぼ中間に位置する。周辺は住宅地。
- 商圏：スポーツ車・半径5km
スクーター・半径2km
- 客層：ツーリングクラブやテニスクラブなど、3つのクラブを運営。そのため「ソフト中心派」のお客さまが多い。中心客層は20代半ばとやや高い。
- 告知：折り込みチラシをはじめ、DM等の告知活動を展開。クラブ活動も新規獲得に大きな力を持っている。

「それとショールームの在り方についても、この春から少し考え直してみようと思っているんです。いままでではできるだけ展示車両を少なくして、四輪ディーラーのようなスペースを目指していたんですが、今年はお客さんの立場に立って、もう少し台数を増やしてみようかと考えています」

その言葉どおり、店頭には出番を待つニューJOGがズラリ。春が来るのを待ちわびている。

ジュールを立てました。2月末の雪中ツーリングから12月5日の鍋ツーリングまで、合計20回を予定しています。すでにイベントスケジュールはお客さんに伝わっているの、みんな楽しみにしてくれているようです」

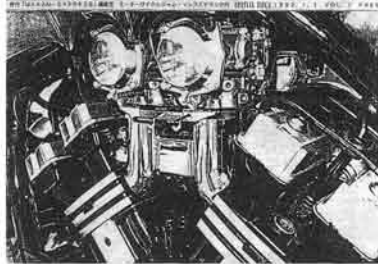
また、1〜2月に3回開かれるスクーターやバザーなどで、シーズンオフの来店促進も確実にフォロー。冬場のコミュニケーションが春の需要をつくるという定石どおり、楽しいイベントが予定されている。

特集 ■ 販売店活動ルポ
突入！ 春商戦ウォーミングアップ!!



春商戦はシーズンオフのコミュニケーションで決まる——
その定石どおりスキーツアーなどを企画して春への準備

MAXAM EXPRESS



年賀状代わりの情報誌“MAXAM”を
400通郵送。これも春商戦への布石



MAXAM

年賀状代わりの情報誌“MAXAM”を400通郵送。これも春商戦への布石

「MAXAM」は、バイクの楽しみ方、メンテナンス、最新のパーツ情報などを紹介する情報誌です。年賀状代わりに郵送しています。ぜひ読んでください。

「MAXAM」は、バイクの楽しみ方、メンテナンス、最新のパーツ情報などを紹介する情報誌です。年賀状代わりに郵送しています。ぜひ読んでください。

「MAXAM」は、バイクの楽しみ方、メンテナンス、最新のパーツ情報などを紹介する情報誌です。年賀状代わりに郵送しています。ぜひ読んでください。

ピカピカ ツールでサービスしたい。

Beta (Italy) FACOM (France) HAZET (W-Germany)

Snap-on (USA) COTAWILHEI (W-Germany)

これらは私たちメカニックの憧れの工具です。私たちのツールBOXにはまだ少しが入りません。困産の物もいろいろありますが、私たちは一流工具にこだわり続けます。あなたの大切なバイクをさわるのだから……

只今安全点検実施中!

フロントフォークOil 疲れてる?

フロントサスペンションは、ショックを吸収するだけじゃなく、操舵安定性の重要ポイント！

運転して、「ちょっとおかしいかな？」と思ったら、一度ご相談下さい。

交換キャンペーン実施中!

ヤマハテクニカルスターター
モーター
マックスヤマシタ

広島市中区舟入川口17-31
TEL: (082) 205-5500

商圈マップで情報分析!! データを活かした頭脳展開

能率的・継続的な告知活動で春商戦を迎える
YSP静岡中央(新村耕三社長)



春商戦の第一歩は 商圈の把握から

卒入学、就職と人の流入出があわただしくなるこの季節。静岡市内に店舗を構える『YSP静岡中央』さんにとって一年を通してもっとも重要な商戦が始まる。

JR静岡駅からほど近く、交通量の多い国道1号線と、東名高速静岡インターチェンジに通じる県道との交差点の角に店舗を構えて3年半。新村社長が前任者から引き継いで、2年のあいだにメンテナンスをしてきた商圈マップが、この時期、大きな威力を発揮する。静岡市内の白地図に、4色の点、店舗の位置を中心に広がっている。

4色の色分けはスポーツ、50ccの新車、中古車を示している。店を中心に、西側には新車50ccを現すマーク、東側にはスポーツ車を現すマークが多いことが、ひと目でわかる。

「こ存じのように、静岡市内には安倍川が流れていて、東西の交通の便があまり良くないんです。朝夕の通勤時間帯には橋が渋滞しますから、通勤にスクーターが使われるケースが多いんです」

新村社長の言葉どおり、駅周辺から見て川向うには50cc購入者のマークが広がっている。東側のスポーツ車の分布は、静岡大学の学生がほとんどか

「どちらもまだまだ需要があると思うんですよ」

商圈マップで 効果的な告知活動

『YSP静岡中央』さんの告知活動は、DMや折り込みチラシを始め、地方新聞、情報誌への広告掲載などさまざまだが、とくに折り込みチラシは定期的に年4回と力を入れている。春の需要期にも約5万枚のチラシを用意するのだが、ここで商圈マップが利用される。

「ただ広範囲にチラシをまいても無意味なだけです。スクーター商圈にスポーツ車のチラシを入れても効果は薄い。だからウチではスポーツ、スクーターの広告を2種類用意し、商圈マップが示すスクーターの商圈にはスクーターのチラシ。スポーツの商圈にはスポーツと、しっかりと絞るわけです」

工夫はまだある。2種類のチラシを同時にまくのではなく、1週間ずらし、それぞれの反応や効果がわかるようにする。折り込むときも、その週末に地方のイベントがあるかないか。天気は良いかなどをしっかりと調べる。条件が悪ければ1週間ずらす。そのためチラシには月日の記載をはずしてあるという徹底ぶりだ。

「チラシ配布後の効果はもちろんありますが、そこで販売に結びつかなくても、定期的に折り込んでいけば店名を

覚えてもらうことができると思います」
このために、チラシのデザイン、色使いを統一したり、折り込みチラシに限らず、新聞広告なども『YSPフェア』『YSPセール』というように、『YSP』を覚えてもらうように工夫もしてある。

スポーツ層獲得 ターゲットは大学生

その大学生だが、スポーツの売上げが大きなウェイトを占める同店にとっては大きなターゲットとなる。商圈には静岡大学、常葉学園大学、そして清水市の東海大学があるが、とくに静岡大学は店舗にも近く学生数も多い。

「静岡大学は、他都道府県から入学してくる学生が8割程いると見込んでいます。彼らは大学周辺に住みますので、そこに重点的にスポーツ車のチラシを折り込みますが、静岡市内には大型併売店の数が多いのでこれだけでは不十分。日頃の活動が大事ですね」

日頃の活動とは、大学内の会報誌に広告を載せたり、学生を呼び込むための学割制度や紹介制度の実施など。学割制度は購入者に対しノベルティのプレゼント、紹介制度は、紹介してくれたユーザーに同店で使える金券や図書券のプレゼント。これらは在学生のお店のファンを増やすのが目的。在学生の紹介してくれる新入生の数は決してあなどれないという。





定期的な広告展開が、春商戦へのポディブローになる

いくつもの情報からチラシによる告知活動を展開、商圏マップが威力を発揮する

特集 ■ 販売店活動ルポ 突入！ 春商戦ウォーミングアップ！！



大学生の来店率を上げるアイデア。貸出し、返却時にアプローチができる

YSP 静岡中央
静岡県静岡市南安倍1-5-14



- 立地：JR静岡駅から車で5分ほど、国道1号線沿いに立地。交差点の角地に立つ地上2階建ての店舗は、遠くからもよく目立つ。
- 商圏：店舗の西側を流れる安倍川をはさんだ向う側の住宅団地がスクーターの商圏。スポーツは店舗から7km程。東側にある静岡大学周辺がメインだが、隣の清水市も商圏に入る。全体的な商圏は国道1号線沿いに東西にのびる
- 客層：スポーツは大学生、20代の社会人が中心。スクーターは学生から社会人まで幅が広い
- 告知：年4回の折り込みチラシ、地方新聞、情報誌への広告が月1回、タウンページ、大学の会報誌にも広告を掲載

さらに、三不運動から開放された、これから免許を取得しようとする学生を誘導するために、免許取得時に必要なヘルメット、グローブ、ブーツなどの用品を、他店より多く扱ったり、ブーツの貸し出しも行なうなど、学生客の獲得を積極的にすすめている。

「4月の入学時期までに、大学の近くに2m四方の立て看板を作る計画もあります」と新村社長。春商戦を目前に、やれることはキチッとやる」と意欲的だ。



列島ぐるり

こんにちばヤマハ旅行



尾道



坂道の町に根付く 生活レベルのモーター文化

人と坂道、そして二輪車がやさしく共存する瀬戸内の町、尾道のんびりと町を探索しながら尾道に生きる販売店さんの姿をのぞいてみた

近代的な生活よりも 昔の面影を選んだ道路事情

海が見えた。海が見える。
五年振りに見る尾道の海は
なつかしい。
汽車が尾道の海へさしかかると、
煤けた小さい町の屋根が
提灯のやうに拡がって来る

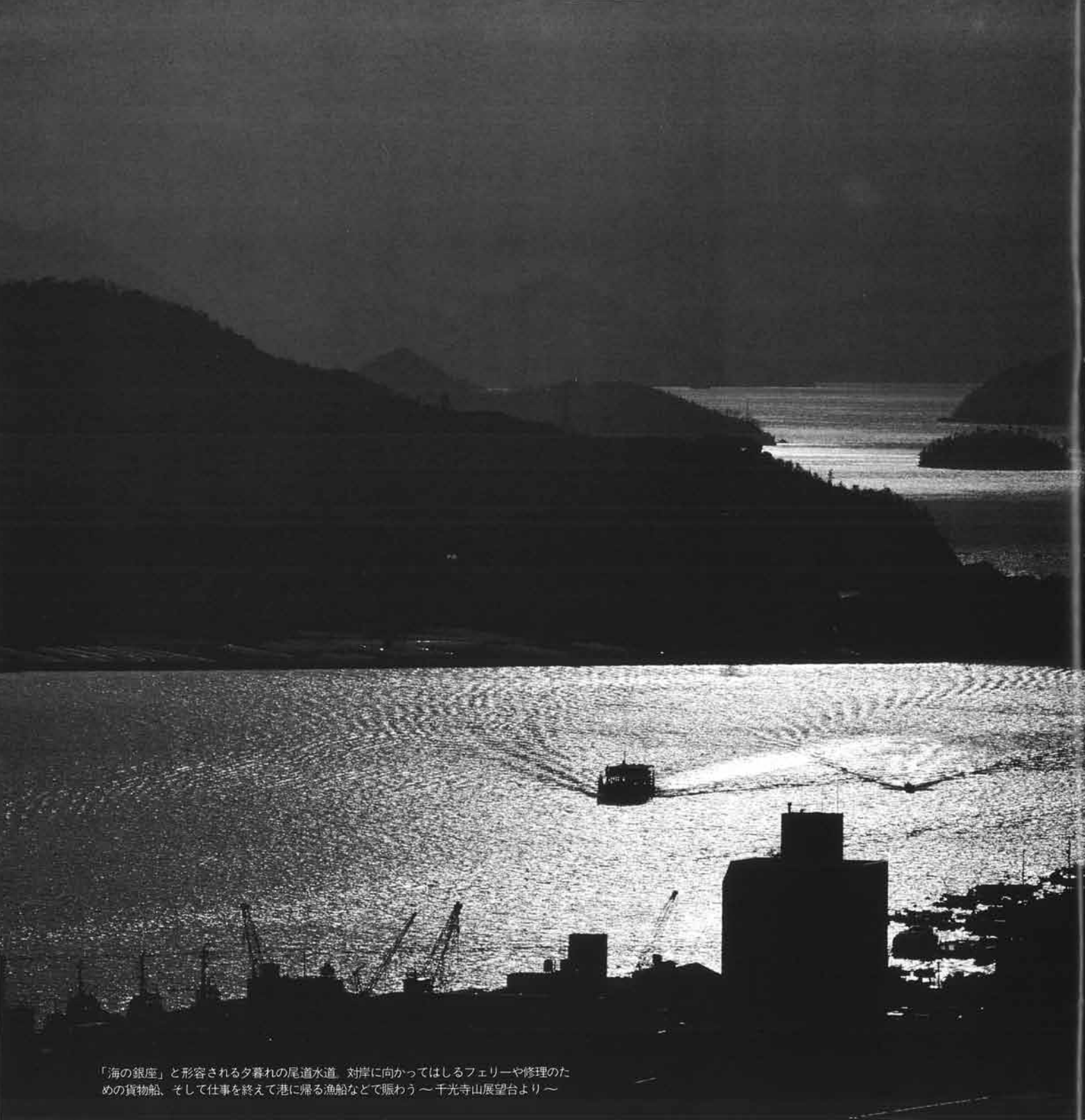
〈林美美子作・「放浪記」より〉



細く入り組んだ市街地の道路事情。昔の面影を残す町並みの、もうひとつの表情でもある



千光寺へ続く遊歩道《文学のこみち》には、尾道ゆかりの作家や詩人の作品が石碑として残されている



「海の銀座」と形容される夕暮れの尾道水道。対岸に向かってはしるフェリーや修理のための貨物船、そして仕事を終えて港に帰る漁船などで賑わう～千光寺山展望台より～

広島県の東部、瀬戸内海に面した尾道市は、中国・四国の旅の要衝のひとつとして栄えてきた開港800有余年を誇る古い港町である。前に尾道水道が横たわり、背後に千光寺山、西国寺山、浄土寺山などの山やまが広がるこの町は、地形上の理由から独自の文化を築き上げてきた。海と山、それぞれの間のわずかな平野部に道が拓かれ、それに沿うように東西に細長く町並みが形成されていった。その様はまさに「尾の道」である。

近郊の町と較べてこの町が昔の面影を残しているのは、尾道が数少ない非戦災都市であることを物語っている。だから今日でも、夕暮れの頃には昭和4年に林芙美子の目に映った「煤けた小さい町の屋根が、提灯のように拡がって来る」風景に出合うことができるのだ。

東京から4時間50分、山陽新幹線新尾道駅に到着して、まず考えたのが「千光寺山に登ってみよう」ということだった。2年前に来た時にも登っているのだが、その時には夜景しか見えていない。もしあれが昼間だったら、尾道の地形図が頭の中に叩き込めるはずだと考えたのだ。

駅前のロータリーからバスに乗って約20分、山頂へと続くロープウェイの乗り場、長江口に向かう。驚くほど狭い路地にバスは入り込み、バス同士がすれ違う瞬間などは、一方が左車輪を路肩に落とし、対向車に道を譲るといった具合だ。こうした道路整備の遅れはこの路線ばかりでなく、町のあちこちから見ることが出来る。

近代的な生活を得るために親しみのある町並みを失うことに戸惑っているのか、それともこの歴史ある町の姿が尾道の人々にとって何物にも代え難い財産であるのか……おそら



くは後者であるだろうと、ほぼ空席のないバスのなかで考えていた。

山頂へはロープウェイでもものの3分。展望台からは思惑とおり、町の様子が一望できた。海というよりも河を思わせる尾道水道の向こう側には向島が浮かび、せわしなくフェリーや漁船が往來している。まわりを取り囲むように居並ぶ山やまには、縦横無尽に坂道や石段が走っている様子もうかがえる。

正岡子規、志賀直哉、そして山口誓子など、尾道を愛してきた数かずの文人墨客も、きっとこの風景を楽しんだにちがいない。彼らが残した文学や詩歌は、いまま千光寺山の下山道へ文学のこみちに残されている。

兄弟で店を盛り立てる 老舗のバイクショップへ

尾道は造船を基幹産業として栄えてきた町でもある。3万8000世帯、9万9000人という現在の人口も、造船不況前には11万人を超えていたという。

いまよりもっと町に活気があったその頃は、

二輪車販売業界も好調であった。ソフトバイクの全盛時代だったのである。町じゅうにソフトバイクが溢れたその時代をよく知る藤原壽美社長を訪ねて、国道184号線を北上、創業45年目を迎える老舗「YOU SHOP フジワラ」さんに足を運んでみた。

お店に到着したとき、藤原さんはバンク修理で入ってきたマリツクを整備中、背後からそっと近づいて「こんにちは」と声をかけると、振り返って「あ、どうも、わざわざ遠くまで、大変だったでしょう？」とニコツと笑いかけてくれた。2年ぶりを見る懐かしい笑顔である。

「古いバイクを見られちゃって恥ずかしいけど」と前置きして、尾道の二輪車市場についてゆっくり、そして親切に話を聞かせてくれた。

それによると、人口はいまなお減少中であり、若者たちの故郷離れも進んでいるという。もともと坂道の多い町だけに二輪車の世帯普及率は約80%と高く、コミュニティーとしての二輪車はいまも人びとに高い評価を受けているとのことだった。

「だからね、うちみたいな地元密着型の店は、こういう古いお客さんを大切に、いかに代替えしてもらおうかというのが課題なわけですよ」

と、整備中のマリツクを指差して教えてく



二輪車が根付く町だから、こんな標識が至るところに立っている

「地元の信頼を守り続けたい」と、創業以来の信念を守る「YOU SHOP フジワラ」さん。左は藤子典さま



地域ナンバー1のお店づくりを丸丸と進める「YSP尾道」さんの3兄弟



れた。実際藤原さんは老人会や婦人会を対象に乗り方教室などを開いて、地道な信頼づくりに努めている。その結果、親子3代のお付き合い合いというお客さまも少なくないそうだ。「みんなも待ってると思いますから、そろそろYSPに行ってみましょうか」

斬く話し込んだのち、藤原さんの方からこう誘ってくれた。「YSP尾道」さんは、市内に40店近くあるバイクショップの中でも最大規模かつ、近代的なご商売を展開する3階建てのお店だ。藤原さんの実弟である義弘さんと猛さんがお店を切り盛りしている。

車での移動中、藤原さんの最大の趣味である釣りに話が飛んだ。同業者の方から以前に「藤原さんはプロ級だよ」という話を聞いたことがある。

「いまはメジナですね。いい季節だから休みの日が楽しみで、楽しみでね」と、本当に嬉しそうである。

『YSP尾道』さんも184号線沿いにあった。市街地と住宅地のほぼ中間点といったところだろう。お店ではふたりの弟さんと、ゆきみ奥さまが迎えてくれた。3人兄弟で全員バイク屋さん。ぼつちやりとした体型も柔和な顔立ちも、本当にそっくりな兄弟である。しかも「子供の頃からあんまり喧嘩もしなかった」というほど仲がいい。

「今年も例のイベント開くんですよ」と教えてくれたのは、三男の猛店長。例のイベントとは、以前にヤマハハニユースでも紹介した高校生対象の原付乗り方教室のことだ。広島県は三不運動の激しい地域であるが、尾道高校は三不ない解除のステップとして指定されたモデル校。その学校が開く乗り方教室に、特別指導員の壽美社長以下お店のみなさんが協力するというものだ。

「人も減ってきてますし、スポーツ市場の今後を考えると、どうしても高校生は切り離せないものですから」と猛さん。

「ご商売の方は相変わらず順調なようで、ひとしきり話したあと、お礼を言ってお店を出た。」

二輪車が根付く土壌と坂道を愛する人びと

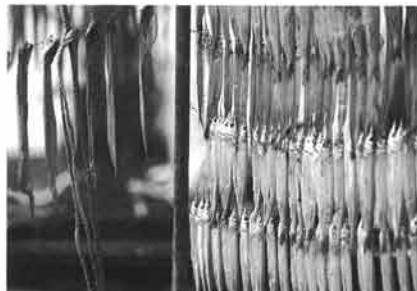
夕日が沈む頃になって、海の玄関口尾道港を歩いてみた。向島へ渡るフェリーに、仕事を終えた会社員や学校帰りの高校生の姿が見える。そうした人びとをクルマやバイク、そして自転車ごと毎朝毎夕運んでいるのだ。

特に港から100メートルと離れていないJR尾道駅周辺には、おびただしい数の自転車やスクーターが走っている。坂道が多く、また市街地に駐車場が少ないことから、みな二輪車を生活の手段として選んでいるのだろう。全国平均43.2%という二輪車の世帯普及率のなかで、この町が約80%という極立って高い数字なのも、駅前風景をひと目見れば納得できる。

当地出身の映画監督、大林宣彦の代表作『さびしんぼう』『時をかける少女』『転校生』もこの尾道が舞台となっているが、映画の重要なシーンには必ず坂道が登場する。

人間の生活の場において、本来坂道は困難な地形のはずだが、ここ尾道では町のシンボルとして愛されているのが現状のようだ。困難な坂道を受け入れてしまう大らかさが、この町の人びとにはあるのかもしれない。

二輪車が、生活の底の部分でしっかりと大地に根付く坂道の町、尾道。今度来る時にはぜひ、藤原さんと瀬戸内海に釣り糸を垂らしたいものである。



サヨリ、あなごは尾道の名産。瀬戸内の青い海からの贈り物だ



市民画家の多い尾道の町。絵になる風景がとにかく豊富なのである



尾道⇄向島を往復するフェリーは、この町の動脈ともいえるだろう



平野部の少ない尾道の商店街では、駐車場問題が悩みのタネ。店舗間のスキ間もなく、ピシッと軒並みが続いている



「技術力がワリになる店を目指す」麻生社長(右)と、サービスマンの岩下智泰さん(23)

アイデア拝見 Pint & Hint

サービス工場

バイクショップにとってサービス部門は、ご商売とは切り離せない大切な「顔」です。お客さまの信頼を得るためにも、行き届いたスペースづくりをしたいものです。

今月の達人

YOU SHOP ASO (広島県福山市)

麻生賢司 社長(29歳)

サービス部門で自己主張 「技術力」がお店のウリ

お店の重要な構成要素のひとつ、サービススペースは、店主さんの個性が一番出やすい場所と言えるかもしれません。また店主さんの考え方によって、それぞれのお店の差が出やすいのもこのスペースです。

「修理・点検の現場はお客さまには見せない」というお店もあれば、その逆に「技術力を売り物にしたい」と作業現場をお客さまに見せているお店もあります。両者ともに長所と短所があるようですが、今回は「見せるサービス」の代表として、YOU SHOP ASOさんの麻生賢司社長にお話をうかがいました。

ASOさんのサービススペースは、ショールームとの区切りが一切ない同じ建物の中にあります。当然商品を見るお客さまからは修理の現場はまる見えですが、こうしたお店づくりをした狙いはどこにあるのでしょうか？

「まず考えたのが、技術を売りにできる店にしたいということでした。置いてある商品で他店と差をつけられない

のであれば、別のところで魅力をつくらないといけない。そこでうちは技術を看板にしようとしたんです」

「私自身もそうだったんですけど、バイクはメカニズムが分かりやすく、楽しさも数段高くなります。そうした意味でもたくさんのお客さんに現場を見てもらいたいと思って、技術サービス部門がよく見える店舗にしたわけです」



逆に「見せるサービス」の欠点は、「預っている修理車がお客さまに間違っ
てキズ付けられる可能性はあります
ね。もっとも十分に注意してますが」



お客さまが整備に立ち合える「YOU SHOP ASO」さんのサービス工場



「資格」はお店の財産
従業員の間も触発する

麻生社長は自分が技術畑を歩いてきた人だけに、若手サービスマンの育成にも力を注いでいます。

「これからの時代は資格がものをいうようになってくると思うんです。ですからYTSをはじめとして、サービスマンにはできるだけお客様の資格を取得してもらいたいと思っています。特に接客などについては、YTSで得るものが大きいですね」

オイルのシミのない工場はサービスマンの「誇り」

「それと常連のお客さんたちが、勝手に工具を使ってしまうこともあり、大切なお客さんです。微妙なところなんです。いまは彼らが自由に工場を回す時間を取るようにしています」と、マイナス要因はあるにしても、具体的なルールをお客さまに提示することで、問題解決の糸口としているようです。



「店としては認証工場の取得が現在の大きなテーマです。認証取得に向けていま、スペースや人材、設備などを充実させているところです」

整然とした同店のサービス工場は、床にオイルのシミひとつないのが自慢です。これも麻生社長がアルバイト時代から叩き込まれてきた職人としての気質なのでしょう。

「オイル作業は必ずダンボールを敷く、これが基本ですね。それから作業中の部品は絶対に床に置かない、使った工具は面倒でも一作業ごとにボックスに戻す、この3点は厳しく指導しています」

「修理車が入ってくると、必ず一旦倉庫（お店から1キロ程）に持って行くようにしてあります。ショールームから事故車が見えるのはよくないし、工場にゆとりスペースがなくなりますから」

またこの春からは自慢の技術力を活かして、お客さまを対象とした「メカニックスクール」を定期的に関連する予定。トラブルシューティングを題材に、息の長いバイクファンの育成をはかる予定です。

“ライダー予備軍”の少年たちは モーターサイクルへ熱い思いをよせている

オレだったらやっぱりSRみたいなヤツがいいな。そうかなあ、ボクはカウルが付いていたほうがカッコいい。いつの間にか、兄弟の会話の中に、バイクが登場している。なぜかその会話は、母親の前では交わされない。父親としては、そんな息子たちの心理がイタいほどよく分かり、ついつい、若かりし青春時代なんかを甦らせたりもする。

前号で19歳の“レーサーレプリカ君”が、1年半をへて、早や買い替えを考えている話をご紹介したが、今回は、いわゆる“ライダー予備軍”と呼ばれている中学生のバイク観をみてみよう。

先の兄弟のように、モーターサイクルへの夢を膨らませているライダー予備軍と言われる15歳から16歳末の少年たちは、いったい何人いるのだろうか。総務庁の調べによると、全国に約390万人（'90年11月現在）いる。

ヤマハニュースでは、その内の一人「バイクだったらSRみたいなヤツがいい」というB君が、暗れてライダーになるまでを追跡してみようと思っている。

B君、いま15歳と6か月。彼の人生最初のハードル、高校受験を控えている身だ。16歳になったらすぐ免許を取り、バイクで全国の城を巡る。これが彼のプランである。将来の職業は「世界をかけまわる新聞記者」だとか。

B君の置かれている状況からして、受験勉強一筋とばかり思っていた父親は、「SR」という言葉を聞いて驚いた。正直、青春が甦ったなどと悠長にかまえている場合でない、と思ったと打ち明ける。そこで、

「お前、なんでそんな名前知ってた!」
「それくらい知ってるよ。F1とバイクがいまクラスで人気があるんだ」

そんなやりとりの後で父親は、こっそり息子の部屋に入ってみた。中学生になって初め

て“侵入”したのだ。驚いた。あきれた。天井に貼りまくったワールドGPポスター。壁は言うに及ばず、F1とモーターサイクルのレーシングシーンであふれていた。そして、ベッドの下からは、これまた専門誌がドッサリ。受験用の参考書を期待したが、F1とバイク雑誌が7対3で圧倒していたのだ。

「知らなかったの、こっそり覗いてみなさいよ、勉強なんかしてないんだから」。母親がいうには、雑誌とニラメッコしていることの方が多いのだという。

「この前なんか、東京モーターショーに友だち誘って行ったんだから、まったくもう」母親は半ばあきれている。

父親はしかし、息子とのスタンスがぐっと縮まる思いがした。幼稚園への通園はバイクだった。草レースにも連れていった。小学生の時、「ぼくのおとうさん」と題した父の日の絵は、バイクに跨がる勇姿だった。

ポルノ雑誌でモンモンとするわけじゃない。健全じゃないか、うん。父親は自らの中学生時代を振り返り、なぜか安心したのだった。

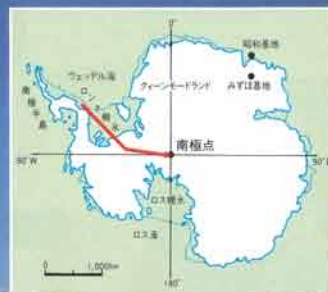
B君とその仲間たちの進路はそれぞれ異なるという。でも、共にバイクで友情を温めていくのだという。どっしりとしていて、チラチラしていない、だからSR400がほしいのだと強調する。受験し、合格した高校がバイク禁止だったらどうするのか? と尋ねたら、

「その時は、オヤジにかけ合ってもら。なにがなんでも免許を取ってバイクに乗る」と受験勉強以上に気合いが入る。父親は願った。「こいつは、いいバイクショップに出合っしてほしい」と。

販売店はいま、春商戦に突入している。B君は少なくとも新規の有力見込み客だ。ライダー予備軍たちへのアプローチにもチャレンジしたいものだ。



EXPLORATION OF ANTARCTICA



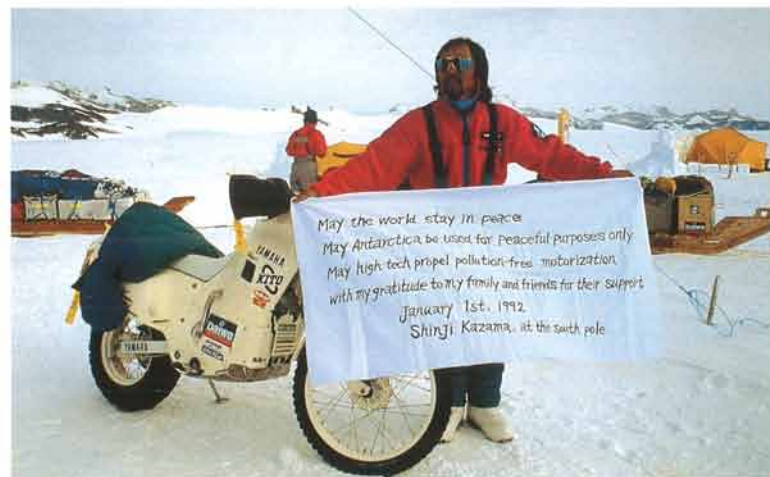
ヤマハのXT70「ウィスバーダンサー」と風間氏は、昨年12月1日に極点へのアタックを開始。悪天候、ブリザード、氷が溶ける雪などの困難やツリの破壊など、次々と発生する障害を乗り越え、34日間で約2000kmを走破。



夏の南極の自然を最大に活用した時計式のコンパスを、ウィスバーダンサーのフロントに装着



北極点チャレンジで得たノウハウもフル活用。前輪のソリは南極でも大いに役立った



世界平和と地球環境の保護、そして南極の平和利用を訴える横断幕をいつも肌身に走行

ヤマハ&風間深志氏 地球の両極点踏破を達成!

ヤ

マハTW2000改を駆り1987年に、モーターサイクルによる初の北極点踏破を達成したアドベンチャーライダー・風間深志氏が、本年1月3日の午前3時30分、同じくヤマハ製マシンOU70「ウィスバーダンサー」を駆り今度は南極点踏破に成功。まさに史上初の快挙であるモーターサイクルによる地球の両極点踏破を成し遂げました。今回の南極遠征は地球環境問題に対する認識を広めること、モーターサイクルと自然との共存を広く世界にアピールすることを目的に計画されたもので、使用されたマシン「ウィスバーダンサー（囁く踊り子）」は、低騒音、低公害をテーマにヤマハが開発したものです。

※詳しくは次号にて報告いたします。

New
MODEL



ディーブバイオレットソリッド1

メーカー希望小売価格：¥429,000

(北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には保険料、税金(含消費税)、登録に伴う諸費用は含まれません。

カラー：パーブリッシュホワイトソリッド1/ビビッドマゼンタソリッド2、
パーブリッシュホワイトソリッド1/ビビッドグリニッシュブルーソリッド1、
ディーブバイオレットソリッド1

力に加え、伸び側減衰力調整機構を追加し、よりキメ細かなサスセッティングができるものとなりました。

また、アウターチューブ表面のアルマイト処理はカラードタイプとし、よりアグレッシブな印象をもたせています。

■クリップタイプ・シールチェーンの採用

ドライブチェーンには、エンデューロ参加時

のメンテナンスが容易なクリップタイプのシールチェーンを採用しています。また、リアアームエンドはY Zタイプとしてリアアクスルまわりの剛性を高めています。

■ビードストッパーの採用

リアのリムにはビードストッパーを設定しています。低空気圧走行時の急激なトラクショ

ン変動に対しても、タイヤとチューブのズレを最少限に押えて、対パンク性能を向上させています。

■エンジンガードの採用

WR200Rと同タイプのエンジンガードを採用しました。



オン・オフモデルの雄

ヤマハ DT200WR

各部を一新して登場! 2月20日新発売

リアルエンデューロマシンとして昨年1月に登場したDT200WRは、その圧倒的オフロード走破性で全国のレースシーンを席卷。'91年の2サイクルエンデューロモデルにおいてトップの登録台数を確保しました。

ニューDT200WRは、その走行性能をさらなるものとするために、吸排気系のセッティング変更、冷却性のアップ、サスペンション調整機能の追加など、細部に渡る見直しによりオフロードでの総合性能の向上を果しています。

また、今回は従来のカラーバリエーションにプラスして、国内に定着しつつあるヨーロッパマインドあふれるバイオレット系カラーを新たに投入。林道で、街中で映えるオフロードの新しいセンスを主張します。

主な変更点

■YPVS作動特性の変更

ピストン、シリンダーの耐熱性・耐久性の向上と、中速から高速域でのレスポンス向上を図るため、エンジン回転数の変化に対するパワーバルブの作動開度の設定を変更しました。

■キャブレターセッティングの変更

パワーアップ及びキャブレレーションの向上を狙って、TM30SSキャブレターのセッティングを変更しました。メインジェットは#220から#240へ、パワージェットは#75から#50へ変更し、ハイパワーと扱い易さの両立を図りました。

■冷却性能を向上

ハイパワーを安定して発揮させるために、冷却性能の向上を図っています。ラジエーターのコアは8列から10列へ拡大、また吸い込み側のポンプ性能アップと水通路径アップにより冷却水流量を25%向上させました。さらに、ラジエーターカバー幅も拡大して、冷却性能を一層高めています。



■クラッチレバー操作荷重の低減

ラック&ピニオン式のアウトブルークラッチリリース機構は、リリース側のレバー長を40mmから50mmへ変更して、レバー操作荷重を15%低減。クラッチの操作性を一層向上させました。

■伸側減衰力調整機構を追加したフロントサスペンション

フロントサスペンションには従来の圧側減衰



唯一/50ccフルサイズパフォーマー

TZR50

ヤマハスポーツ

2月10日新発売

New MODEL

メーカー希望小売価格：¥275,000

(北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録に伴う諸費用は含まれません。

カラー：ホワイト、ヤマハブラック



ヤマハブラック



ホワイト

50ccフルサイズスポーツの中でNo.1の人気を誇るTZR50が、さらなるクオリティアップを目指して各部を一新。その走りの世界をより大きなものとししました。

まず、定評のエンジンは点火タイミングの変更をはじめとする細部の見直しにより加速性やレスポンスがさらに向上。タイヤ構造の見直しと相まって、極めてスムーズな走りを実現しています。

また、前後サスペンションも構造の熟成化を図り路面追従性をアップした他、ハンドルポジションの変更やブッシュキャンセルスイッチの採用とともに、よりスポーティなライディングを約束します。

カラー&グラフィックを変更 JOGトランク

ヤマハスクーター

JOGトランク

2月20日 新発売

走りのジョグにユーティリティを加えたことで好評の「ジョグ・トランク」が、フレッシュなニューカラーをまとって登場です。先にカラーチェンジを行なったジョグ、ジョグZ同様、幅広いお客さまへのご案内をお願いします。



ライトグリニッシュグレーメタリック3



ベリダークブルーカクテル3



ブラック2

メーカー希望小売価格：¥143,000 (北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録に伴う諸費用は含まれません。

カラー：ライトグリニッシュグレーメタリック3、ベリダークブルーカクテル3、ブラック2

FROM SAFETY

日本の道路はクルマやバイクで満杯! ぶつからないコツは“よく見る”こと

現在、日本の道路を全部つなぐとどのくらいの距離になるかご存じでしょうか。

'90年に建設省が発表した資料によれば、一般道は110万km、高速道路が4700kmとなっており、これは地球の円周を4万kmとすると約28周してしまうほどの長さです。

地球という球体のなかでは、ほんの小さな点にすぎない日本でも、それを網の目のように走る道路はこれほどに長いのかと、改めて驚いてしまう話です。

また、現在の自動車国内保有台数は二輪を含めておよそ8000万台。ということは、これがそっくり一般道路上を走行していると考えた場合、道路1kmあたり72.7台、100mあたり7~8台がひしめき、クルマ1台あたりに許される道路の長さは13.75mとなります。

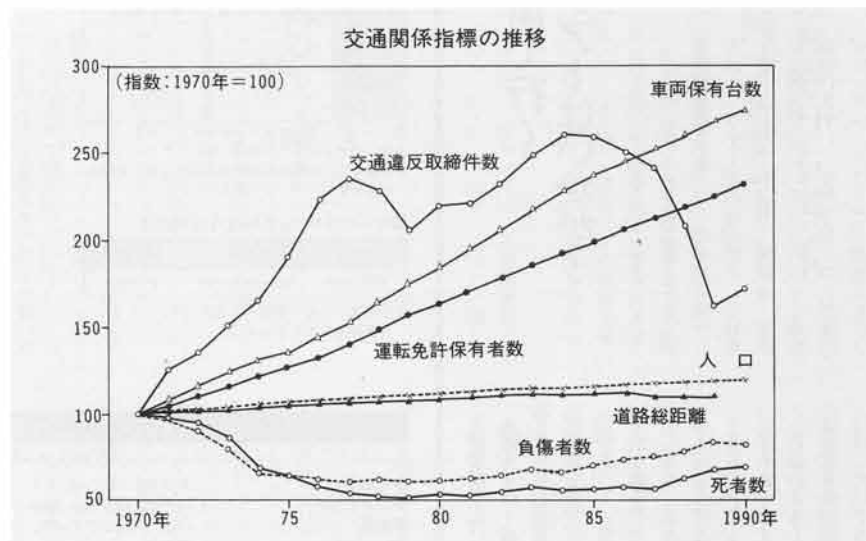
これによると、クルマ1台の長さが4mとした時、前後に約10mずつの車間距離をとれる計算です。

ところが、110万kmある一般道路のうち、全交通量の65%は一般国道と都道府県道に集中しているといわれており、一般国道と都道府県道を合わせた長さは一般道全体のわずか16%、18万kmにすぎません。

つまり、同様に自動車の国内保有台数8000万台の65%にあたる5200万台が一般国道、都道府県道を走ると想定すると、道路1kmあたり288.9台、100mあたり29台。

クルマ1台あたりに許される道路の長さは3.46mとなり、車体長4mのクルマでは1車線に乗りきれないという結果になってしまいます。

もっとも、これはあくまで計算上のことで



あり、また、道路の上下車線、複数車線を無視した計算ですから、実際はそんなことはあり得ないでしょう。

ですが、依然として増え続けるクルマの数、限りある道路用地、都市部集中が続く社会構造などを考えると、いつか飽和状態が臨界点に達して……、というコワイ想像もしてしまいます。

ともあれ、それほど過密化し複雑に入り組んだ道路状況では、道路を利用する者ひとりひとりが十分な注意を払っていかなければ、事故を防ぐことはできません。

二輪車インストラクターの資格を持つ、ある販売店の店長さんはこんなことを言っていました。

「ずいぶんたくさんのお客さんと付き合ってきたけれど、事故に合う人はある程度決まっているんだよ。なぜか同じ人が、2度、3度と

壊れたバイクを押して持ってくる。そのうち大きなケガするぞって言っても同じ。根本的に、何が原因で事故を起こしたのか、本人がよくわかってないからなんだ。

乗らせてみると、けっこう上手に走る。ヘタじゃない。何が原因かという、大体は交通状況を読み切れてないんだよ。注意力不足が多いんじゃないかな」

そこで、この店長さんは乗り方がどうの、というアドバイスより、「キミが相手を見ていなければ、相手も自分を見てくれないと思え」と教えるそうです。

右直、左折巻き込みなどは、お互いが相手をしっかり見ていれば防げる事故。これから春、夏と、交通量もまた増えてきます。冬の間眠っていた運転のカンを呼びもどすリハビリは、まず、注意力と判断力が第1ではないでしょうか。

人柄が 心が見えます ライディング

第4回Y.E.S.S二輪車セーフティスローガンとマンガ募集/スローガンの部・準グランプリ作品



静かにやさしく、いい運転。

- やめよう、マフラーの不正改造!
- いつでもどこでも、絶対しない空ぶかし!

新たにシングルスター87店誕生！ 信頼されるサービスの証しYTS

春商戦に向けてお店の魅力をアピールする時、大きなポイントとなるのがサービス力。信頼できる技術力をより多くのお客さまに知っていただくことが、お店のイメージアップにつながるものです。特に、ヤマハ車を扱うプロショップとして、お客さまに安心して愛車を任せてもらうことは、これから長い付き合い合いを続けていくうえで、なにより大切なことといえます。

そこで、ヤマハでは「ヤマハ・テクニカルサービス提供」に尽力いたします。

ルサービス・スター店(YTS)制度を設け、優秀なサービス力を持つお店にはその資格認定プレートと贈り、お客さまへのアピールにつとめているわけです。

そうしたなか、すでに数多くのお店が認定され、その輪はますます拡大の一途にあります。このたびまた新たなシングルスター87店が誕生しました。おめでとうございませう。

今後とも、お客さまへのより良いサービス提供に尽力いたします。

■YTSヤマハ二輪車整備士講習会日程

日時	2月	3月
会場		
北海道 ヤマハ	B 3-5 旭川	
ヤマハ北 東		
東京研修 センター	B (2M) (4M) 4-5 18-20 24-26 松本	B (2M) (4M) 11-13 16-18 23-25
ヤマハ中部 研修会館	4M 5-7	2M 11-13
神戸研修 センター	2M (4M) B 5-7 18-20 25-27	2M B 11-13 17-19
ヤマハ 中 国	B B (4M) 12-14 19-21 27-29 岡出 福山 広島	4M B 2-4 11-13 岡山 松江
ヤマハ 四 国	B 18-20 徳島	
福岡研修 センター	4M 5-7	B 10-12

B/ペーシック 2M/2サイクルマスター
4M/4サイクルマスター D/ドクター
※都合により開催日の変更および中止をする場合がありますので、ご了承ください。

■サービスマニュアル(2月追加版)

モデル	注文No.	価格
TZR250R	3XV-28197-06	¥ 600

※価格はメーカー希望小売価格です。
消費税は含まれません。

ヤマハ・テクニカルサービス・スター店制度

シングルスター新規認定店のみなさん

- 北海道
谷口サイクル
●青森
FM小田切
●宮城
YOU SHOP サトウ
山口輪業商会
ピークルハウス スガワラ
トレールショップタケダ
●茨城
YOU SHOP カワシマ
寺田商会
オートクロス ヤマシタ
●埼玉
YOU SHOP タナカ
オートショップアカイシ
株バイクハウスセロ
南岩月オートサイクル
●群馬
ARS オカダ
●千葉
マチャダサイクル
ガレージM&B
- スガヤオートサービス
バイクショップBun Bun
バイクショップウインディ
●東京
MH products
術スベシャルパーツ忠男
●神奈川
YOU SHOP ヒラノ
YOU SHOP カモイ
YOU SHOP 港北 ニュータウン
ジェスM・C・S
オートショップ中村
モトショップOUT RUN
●山梨
YOU SHOP 藤本
●長野
ライダーズサロン ペア・ワイン
●富山
サイクルショップ伊藤
オートショップ堀 富山店
サイクル&バイクなかしま
南てかかはしサイクルセンター
佐渡モーターズ
- 石川
YOU SHOP 川田
南きやぶてん
野上モーターズ
ガレージTT
数岡商会
●福井
YOU SHOP 秋本
YOU SHOP 川元
BIKE HOUSE 赤い3輪車
ミヤザキサイクル
RIDERS CLUB
●愛知
YOU SHOP ミヤセ
スポーツプラザ タカハシ
●滋賀
溝口オート商会
●大阪
YOU SHOP ROUTE S
YOU SHOP モトバル
YOU SHOP 大和
YOU SHOP タキ 河南町支店
YOU SHOP 平松
- YOU SHOP エビス
YOU SHOP SK
YOU SHOP ミナミ
YOU SHOP モトサプライ
タイガーオート
●兵庫
YOU SHOP 逆瀬川
YOU SHOP 杉山
YOU SHOP 本岡
●和歌山
YOU SHOP ルート26
YOU SHOP 21
サイクルセンター阪口
●鳥取
YOU SHOP 沢正
山根商店
●岡山
近藤商会
バイクセンター ヨシダ
●広島
YOU SHOP しげみつ
YOU SHOP 辰見
サキヤモーターサイクル
小国モーターズ
レッドバロン福山
●山口
中村サイクル
●高知
たけむらサイクル
西田商会
●福岡
モトショップ マイ・バイク
●佐賀
YOU SHOP 古賀
深江輪業商会
●長崎
布オートキャビン道田
RIDERS SHOP TASTY
モーター&サイクルショップマワタリ
●大分
布オンザロード
矢野モーターズ
●宮崎
小倉オートサイクル
●鹿児島
YOU SHOP クボ
布バイクフォーラム
田上モーターズ



YESSSスポット利用で行く KAWABASキーツアーはいかが？

ツーリングの時などで、安く気軽に使えるライダーの宿として設定している「YESSSスポット」は、シーズン中、数多くのYESSSスタッフにご利用いただき、大変好評を博しました。しかし、乗車機会が減少する冬、せっかく便利な施設を使わないのもつたない話です。

例えば、YESSSスポットのひとつ「ツーリング・インNUMATA」(群馬県利根郡)などは、地の利を活かしてスキーツアー用の宿泊地として利用するのはどうでしょう。関越道・沼田IC付近には、いくつものスキー場が点在しますし、なかでも、カナダ風のゲレンデレイアウトと、週末でもリフ

ト待ちが少ないことで人気の「KAWABASスキー場」へは、ツーリング・インNUMATAから往復スキーバスが発着します。駐車場の収容台数に制限があつて、入場が思うにまかせない場合があるだけに、これは便利です。

しかも、スキーバス利用と宿泊で泊4500円という格安料金は魅力。YESSSスタッフにはTシャツプレゼントもありです。

お店のスキーツアー企画に、あるいはお客さま同士の個人利用に、ぜひ注目したいプランです。

●YESSS遊々コミュニケーション
インKAWABAS
料金/スキー素泊り(スキー場送迎
バス付き)・4500円
素泊り・3000円
朝食・700円
夕食・1300円
鍋料理(1人前)・2000円
詳しくは、ツーリング・インNUMATA
(☎0278・56・3606)まで
おたずねください。

SALES

春の需要期に安心のお守りもセット 好評のJOG盗難保険プレゼント

いよいよ春。バイクシーズン到来とともに、最大の需要期を迎えようとしています。

特に、3月、4月は新入学、新入社されるフレッシュマンの通勤、通学用ツールとして、スクーターに注目が集まる時です。豊富なバリエーションを誇るヤマハスクーターラインナップで

大きな成果を獲得してください。
しかし、最も手軽な移動手段であるスクーターは、社会的認知度を大きく高めている反面、盗難による被害も後をたたく、お客さまの不安感をつのらせています。

そこで、ヤマハではこの春需要期に向け、JOG (YGシリーズ) に購入

のお客さまに無料で1年間の盗難保険をプレゼントするキャンペーンを実施します。

これは、昨年春から夏にかけて行って好評をいただいたもので、今回はテレビCMのなかでも告知を行なっていく予定です。どうぞ、店頭でも心強い「お守り」付きJOGとしてアピールし、ご拡販にお役立てください。

●JOG盗難保険プレゼント

期間：3月1日～4月30日
対象車種：'91・'92 YGシリーズ

ヤマハビジネス3モデルのメーカー希望小売価格は、2月1日より次の通り改定となります。

『YB50』	145,000円
『YD125』	264,000円
『YD125S』	274,000円

SUGO

スキーシーズンも後半戦突入！ SUGOのバックでぜひどうぞ

ウィンタースポーツといえばスキー。この時期ばかりは、ハンドルをストックに持ち変えて白銀の山がよいに精を出しているお客さまがきっと多いことでしょう。

特に今どきの若者たちは多趣味です。来店機会の少なくなる冬場、スキーツアーでも企画して、春商戦のウォーミ

ングアップに集合をかけ親交を温めておくのも手ではないでしょうか。

そんな時ぜひご利用いただきたいのがSUGOの「ワンダフルスキーツアー・ウィークエンドコース」。東京新橋発のデラックスバスで往復し、SUGOをベースに宮城蔵王白石、えぼし、セントメリーなどから2カ所のゲレン

デを日替りで楽しめます。

また、「将を射んとすればまず馬を射よ。」のたとえどおり、お子さまをお持ちの家庭向けに「春休みわんぱく・ジュニアスキースクール」を使ったツアーを企画してみるのも、地域密着型のお店にはいかもかもしれませんね？

●ワンダフルスキーツアー

ウィークエンドコース (2泊3日)
日程：2月14日～16日、2月21日～23日、2月28日～3月1日、3月13日～15日

料金：32000円 (1日リフト券、テレビ愛知、テレビせとうち、ティー・エックス・エヌ九州/毎週土曜日18時30分から18時45分。静岡放送/毎週日曜日10時45分から11時、東日本放送/毎週土曜日24時00分から24時15分。テレビ新広島/毎週木曜日24時35分から24時50分)

SUGO宿泊、パーティ料金などを含む) ※現地集合の場合
金は21000円

●春休み・わんぱく&ジュニアスキースクール (4泊5日)

日程：3月26日～30日
対象：わんぱく/小学3年～6年生
ジュニア/中学1年～高校生

料金：わんぱく/東京発62000円
ジュニア/東京発70000円
仙台発49000円
仙台発52000円
仙台発52000円
詳しくはSUGO東京店 (03-35



75-4771、仙台店 ☎0224-83-4771 までおたずねください。

A D

2月のヤマハ提供番組

ONANDOFF

陸と海、2つの大きなフィールドを舞台に展開するすばらしいヤマハワールドの数かずをご紹介する番組です。巧みなカメラワークを駆使した美しい映像と選び抜いたBGMで、話題性に富んだテーマをスポーツマイナリティにお届けします。

▼2月1日 (ヘマリン)

「ヨットを愛するパーボナーの主人」

▼2月8日 (ハイク)

「ペーパークラフトマン」

▼2月15日 (ヘマリン)

「帆船至上主義」

▼2月22日 (ヘスノモ)

「ダイナミック・スノーモビリング」

▼2月29日 (ヘマリン)

「パラナース」

※都合により、一部内容が変更となる場合があります。

※一部地域では放送日が異なります。

※一部地域では放送日が異なります。

※一部地域では放送日が異なります。

日本テレビ系列全国29局ネット。ヤマハ提供・毎週火曜日23時～23時55分

●オリジナルコンサート

私たちの創った世界
世界各国で精力的に活動が続けている(助)ヤマハ音楽振興会「ヤマハ音楽教室」。そこで育った世界の子どもたちによる自作自演コンサートの模様をお届けします。日曜の朝をすがすがしく彩る純粋な音楽の響きをゆつくりとお楽しみください。テレビ朝日系全国17局ネット・放送日/毎週日曜日。放送時間/7時30分から8時

自転車やラジカセなど豪華商品のお年玉に、参加者たちは思わずにっこり「初笑い」

正月早々、74チーム合計300名もの参加者で賑わった



新年のあいさつはサーキットで！ ミニバイク6時間耐久レース開催

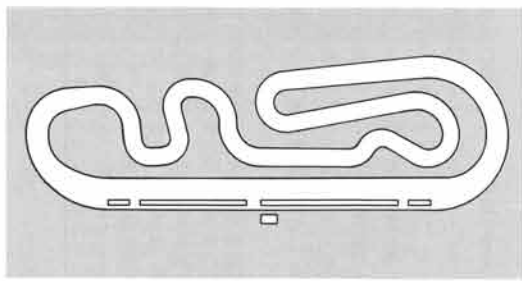
お正月の過ごし方、というと、子どもはともかくおとなにとってはホロ酔いかげんでテレビをながめるくらいの方法しかなくて、ちょっと返屈するイメージがあるものです。

バイク好きの人の場合も、初日の出ツーリングや初もうでツーリングを済

ませてしまえば、そのあとどこに出かけても周りが全て休みなで、結局家でゴロゴロなんてパターンではないでしょうか。

そこで、どうせならひとつみんなでライダー新年会でも賑やかにやらう、と企画されたのが、YSP東松山・埼玉県主催の「ニューイヤースペシャル6時間耐久レース」です。

1月5日、昨年夏にオープンしたばかりの新しいミニバイクコース「桶川スポーツランド」には、レース初めを楽しもうという人たちが早朝から続



「桶川スポーツランド」のコースライセンス取得料は、Y.E.S.S.スタッフなら2000円引きの9000円。問い合わせはYSP東松山（☎0493-24-0488）

々と集合。新年のあいさつを交わしながらも、気合いに満ちた雰囲気がい

ます。そして午前9時ちょうど、ミニバイクレースとしては、珍しいカートレース形式のスタートで、74台が一斉にアクセル全開！6時間のロングレースが始まりました。

その間、緊迫したバトルが続くコース上とは裏腹に、ピットではおにぎり片手にストップウォッチを握る姿や、疲れて昼寝をするベアライダー、おしやべりに花を咲かせるクルーなどほのぼのとした様子もあちこちで見られます。

そんななかで、最終ラップまで同一周回のトップ争いを勝ち抜いた兄妹チームが480周で優勝。300名近い参加者の祝福を受けました。

また、表彰式ではお年玉がわりの豪華賞品がズラリと並び、そのあとにはラジカセや自転車などが当たる大ジャンケン大会も行なわれ、参加者にとっては最高の新年会となったようです。

なお、この桶川スポーツランドでは今年、3月1日から全6戦のミニバイクレースシリーズ戦も開催されることになっています。

「偉大なる草レース」ますます隆盛 10年目を迎えた『BOTT』

二三年前、ひと頃の爆発的なブームが落ちつきをみせてきた観のある全日本ロードレース界ですが、反面、徐々に人気を伸ばしつつあるのが各種プロダクションレース。

特に、もっとリラックスしてレースを楽しもうという目的で始まった2気筒や単気筒のレースは、回を追うことに参加者、観客の数が増え賑やかさを増しています。

有名なところでは、「バトル・オブ・ザ・ツイン（BOTT）」、「ザ・サウンド・オブ・シングルズ（T.S.O.S.）」、「グランドスラム・4（旧エコー・デ・カトル）」などがあり、1月15日には、その草分け的存在である「BOTT」の第10回大会が茨城県・筑波サーキットで開催されました。

今大会は、単気筒、2気筒車それぞれのもディファイアクラス、エキスパークラスなど6クラスのレースが行な



勝ち負けよりも、まずレースを楽しむことが「偉大なる草レース」BOTTの精神



バドックは、さまざまな創意工夫を施したマシンがズラリと揃い、まるで展示会のよう



4ストローク・2気筒車ならなんでもあり、のエキスパークラスで5位入賞。大いに注目を浴びたTDM 850ベースのマシン

われ、さまざまな工夫を凝らしたマシンで合計約300名のライダーが出場好天にも誘われて詰めかけた2万の観衆は、知り合いのチームや珍しいマシン、ユニークなライダーの走りをのんびりと楽しんでいました。

なお、この日のメインレース「エキスパーク・ツイン」クラスには、昨年海外で発売されたばかりのヤマハTDM 850のエンジンを使ったマシンが登場。16歳・阿部典史選手のライディングで、見事5位入賞を果たしています。

ヤマハ往年の名ライダー マカオGP 25周年を祝ってデモラン

「スタートから300Rの第一コーナーを5速で、多少ドリフト気味に抜ける。海岸に面して立つ街路灯をチラリと見ながら、海から吹きよせる風を頬に感じてスピードを読み取りアクセルを開けていった……」

かつてヤマハワークスライダーを務め、第1回、第2回マカオGPのチャンピオンとなった長谷川弘さん（現YSP浜松北社長）が、TZR250Rで久しぶりにギユイアサーキット（マカオGPの舞台）を走った時の模様をリポートしてくださいました。

マカオGPは、東洋のモンテカルロと称されるほど美しい海の観光都市マカオで毎年1回1月に開かれる恒例のモータースポーツイベント。昨年も、11月23日に四輪、二輪の各種レースが行なわれましたが、この大会、二輪部門が始まって25周年になる記念大会ということで、長谷川さんをはじめ、第12回14回の優勝者、浅見貞男さん（現浅見レーシング社長）ら歴代名ライダー



長谷川さんとヤマハR D56は'67年の第1回マカオGPで優勝



25周年記念のデモランが、歴代名ライダーを集めて行なわれた

ーが揃ってのデモンストレーション・ランを披露したというわけですね。
「22年前、私のレース人生最後のレースとなったこのマカオGPは、思いおこせば尽きぬ楽しさもあり、また大変なレースだったと今でも記憶している。そのマカオGP 25周年記念式典のおかげで、私と浅見君は再びこの地を訪れたのだ。」
我々は、グランプリレースの始まり前、サーキットを一周して観衆に応え



浅見貞男さん(左)とその愛車TZ750。右端が長谷川弘さん

るべくスタートラインに並んだ。どつとばかりに報道関係者に取り囲まれ、まわりはたちまち黒山の人だかりとなった。
私は、60年代の（オワン型）ヘルメットにゴーグル、白い革ツナギ。ほとんどの人は、初めてみるスタイルなのか盛んな歓声と注目を浴びた。……（中略）私はヤマハTZR250Rに乗り、残念ながら当時のRD56ではなかったが、空冷2気筒45ps以上、最高速230km/hを超えるRD56はヤマハが誇る高性能レーサーであった。（中略）しかし、浅見君はおなじみのヘルメットにツナギ、そして実際に78年から80年にかけて乗ったTZ750にまたがって出場。往年の名レーサーを今も大切に保存してあるのだ。
ともあれ、このサーキットをレース仕様車で走るのは20年ぶりのこと。つい楽しくてはやる気持ちを抑えながら走ったが、しばらくすると昔のフィリッングを思い出し、快調に走行を楽しむことができた。
マン島TTとともに並び称せられる公道レース、マカオGP。その伝統を築き上げてきたのは、こうした日本人ライダーたちでもあったのです。

栄光の本選進出をめざして アメリカズ・カップ予選開幕!

世界最高のヨットレースとして長い伝統と格式を誇り、内外の熱い注目を浴びている『第28回アメリカズ・カップ』ですが、5月9日から始まる本選に向け、挑戦艇と防衛艇を決定する予選がいよいよ始まりました。

アメリカズ・カップは、カップを保持する防衛国代表艇と、それに挑戦する各国の挑戦艇代表による1対1のマッチレースで行なわれます。そして、その防衛艇、挑戦艇を一艇ずつ選ぶために行なわれるのが予選で、防衛国アメリカの代表を選ぶ『ディフェンダーシリーズ』が1月14日から、挑戦艇代表を選ぶ『ルイ・ヴィトン・カップ（チャレンジャーシリーズ）』が1月25日か

らスタートしました。

今回は、防衛選抜艇3艇、挑戦選抜艇7カ国8艇が参加しており、ヤマハが建造にあたった『ニッポン』艇（ニッポンチャレンジャーアメリカ杯1992）も、さまざまなハイテクを駆使した3号艇を投入。歴戦のスキッパー、クリス・ディクソン以下16名のクルーが、鍛え上げたチームプレーでまずは挑戦艇代表権獲得にチャレンジしています。

現在展開中の挑戦艇予選は、3回のラウンドロビン（総当たり戦）で行なわれ、そのうち上位4艇がセミファイナルに進みます。その後、さらに上位2艇がファイナルで代表権を争うことになりませんが、8艇のなかで屈指の有力艇と目される『ニッポン』。その活躍が大いに楽しみです。
なお、1月28日現在で挑戦選抜艇2連勝と好調なスタートを切っています。



艇、そしてクルーのコンビネーションがカギ。『ニッポン』の国内外での評価は高い

●アメリカズ・カップ放映予定

- 1月26日(日) 午後3:30~4:54
- 2月8日(土) 深夜0:45~2:10 「ラウンドロビン1」
- 2月29日(土) 深夜0:45~2:10 「ラウンドロビン2」
- 3月21日(土) 深夜0:45~2:10 「ラウンドロビン1~3」
- 4月上旬 放送時間未定 「セミファイナル総集編」
- 5月上旬 放送時間未定 「ファイナル総集編」
- 5月下旬 放送時間未定 「アメリカズ・カップ総集編」

ドイツの交通渋滞緩和にひと役 FJ1200で交通情報アドバイス

モーターリゼーションが発達した大都市では、東京ほどではないにせよ、世界中どこでも交通渋滞が付きもの。

先進的な交通行政で知られるドイツも、やはり例外ではありません。特に長期の休日が入る行楽シーズンの混雑などは日本と大して変わらないノロノロ運転の車の列が続くこともしばしば。

そこで、こんな状況を、なんとか打開する方法はないかと考えたADAC（日本のJAFにあたる組織）では、各地の道路にパトロール員が乗った車やバイクを配備し、実際にその渋滞状況を調べたうえで地図を配って別の道をアドバイスしたり、お互いのネットワークで各種交通情報を伝えるなどのサービスを始めました。

そういう時、やはり便利なのは機動



こういう渋滞も、バイクなら状況把握はラクラク

性に富むバイク。この新しいサービスに賛同したヤマハインポーターは、さ

つそく2台のFJ1200をADACに提供しました。それからというもの、黄色いステッカーを貼ったFJは、持ち前の身軽な機動力をフルに発揮、リアルタイムの交通情報伝達に大活躍しています。



道路状況を正確につかみ、ドライバーに最も必要な情報をインプットするのが新しいADACのサービス

'92東京モーターサイクルショー 3月13日～15日に開催



購入候補車探しにも利用される

昨年に公開された「東京モーターショー」は、2年に1度のビッグイベント。会場へ足を運んだ方も多いことでしょうが、毎年春、バイクシーズン到来を告げる恒例イベントといえはやはり「東京モーターサイクルショー」です。バイクだけの大展示会として、今年で21回目を数えるこのショーは、年々その規模を拡大。昨年の420台を超える出品が予想されます。

ヤマハをはじめ、各メーカーのニューモデルが出そろったほか、さまざまなカスタムバイク、ウエア、用品関連のブースも軒を連ね、各種アトラクションも行なうなど、独得のくだけた雰囲気、モーターショーと違った魅力です。会場は、昨年同様、平和島・東京流通センターとなっています。



前回は、ヤマハYAIなど往年の名車たちをズラリ展示し、モーターサイクルの歴史をひもとくコーナーも設けられ人気を集めた

BOOK GUIDE

X S 7 5 0 で 4 2 万 国 1 5 万 km を 走 破 世界1周ツーリングの泣き笑い記

『地球に恋してタンデムラン』



地球に恋して
タンデムラン

バイクで世界1周、42万1500kmの記録！
嵐のふりかき



イギリス留学中に知りあった主人公・メイヤーさんと、モト声と名付けた愛車・ヤマハX S 7 5 0 で世界一周の旅に出た東はるみさんの、15万kmにおよぶツーリングを書きつづけた泣き笑い日記がこの本です。当時恋人として付き合っていたクルトさんが、「一緒にバイクで日本へ行こう」と言い出したのがきっかけで、家族中の猛反対を振り切り、彼の住むス

イスを、モト声に2人乗りで旅立ったのが81年7月8日。それから南ヨーロッパ、アフリカ、インド、東南アジア、オーストラリアと巡りながら、あちこちで人に助けられたり悩まされたり、時にはバイクのトラブルと戦い、旅の楽しさや苦しさを味わいました。

そして日本に到着。家族との再会、結婚。それから再び旅立ち、アメリカ大陸を縦断してなつかしいスイスへ。バイクを通して、世界を自分の目で見、そして体で感じる事ができたことをこれからの人生の糧としたい」という、そんな旅のすばらしい思い出がこの本にはぎっしりつまっています。これから世界へ飛び出そうとして夢みている人に読んでほしい一冊です。東はるみ著 造形社刊 1500円

'92 YAMAHA NOVELTY

—春・ご商談のプレミアムに—



■エチケッブラシ(No.373092 / 500円)
これから春にかけて、卒業・新入学・入社をはじめ何かと改まった席が多いもの。そんな時、スーツのポケットにしのばせておく大変重宝する小物です。



■プレートキーホルダー(バイク)
(No.373052 / 360円)
名前と電話番号、バイクのナンバーが書き込めるシールを内蔵。新しいバイクとの付き合い合いを始める記念にぴったりです。



■ミニコンボ
(No.373082 / 300円)
シャープペンシルを黒・赤2色のボールペンをひとつのボディにセット。どなたにも喜ばれるプレミアムです。





'91パリ・ダカに続き2年連続で栄冠を手にしたS・ピーターハンセル



トップに立ってからは、後続を徐々に引き離す強さを見せた

最終目的地がダカールからケープタウンへと移り、世界初のアフリカ大陸縦断ラリーとなった「パリ・シルトール・カップ'92」。砂漠、サバンナ、ジャングルとステージが多様化したこのラリーにおいて、昨年のパリ・ダカールラリーの覇者、S・ピーターハンセルが52時間59分14秒、2位のラポルテに24分もの大差をつけ、MOTO部門の総合優勝を飾った。

プロローグランから他を圧倒する速さを見せていたピーターハンセルは、1日目のSSから好調な滑り出しをみせ、トップ。その後「チーム ヤマハ チェスターフィールド スカウト」のエースで同じマシンを駆るA・デ・ペトリにトップを譲るが、6回目のSSで再び総合トップを奪う。

この時点で2位ラポルテがつけるが、ピーターハンセルは徐々にその差を開け

S・ピーターハンセル & YZEF750Tスーパーテネレ 第1回パリ・シルトールカップを制す!



チームメイトのT・マニュアルディも4位でゴール

ていった。

1月7日、ヤマハチームにアクシデント発生。パリダカでの優勝経験のあるG・ラレイがオーガナイザー車と正面衝突、死亡。上位を走る「チーム ヤマハ チェスターフィールド スカウト」はラリーからの撤退を決めた。

しかしピーターハンセルは、この悲しい事故を乗り越え快走。16日、トップでケープタウンのゴールに飛び込んだ。全行程12427km、完走率50%以下の厳しい条件下で、SS優勝を4回記録しての完全勝利だった。

また、同じ「チーム ヤマハ モーターフランス モービル」のチームメイト、T・マニュアルディが5位、G・ピカルドが6位に入賞。YZEF750Tスーパーテネレの信頼性を大きくアピール。マラソンクラスでも、XTZ660テネレを駆るM・モンテベリーが優勝を果たした。

Racing
RExpress

SX AMAスーパークロス キックオフ! ブラッドショー4位で シリーズスタート

今年のAMAスーパークロスも、昨年
に続き、フロリダ州オーランドで開幕戦
を迎えた。チームヤマハの体制は、チャ
ンピオンを狙うデimon・ブラッドショ
ーを中心に、125ccクラスからステッ
プアップを果たしたジェフ・エミグ、
昨年のサポートから格上げとなったダグ
・デュバックの3名。蛍光オレンジから紫
色にかわったシートなど、紫をベースに
オレンジのふちどりを入れた、'92YZ2
50Mでシリーズを戦う。

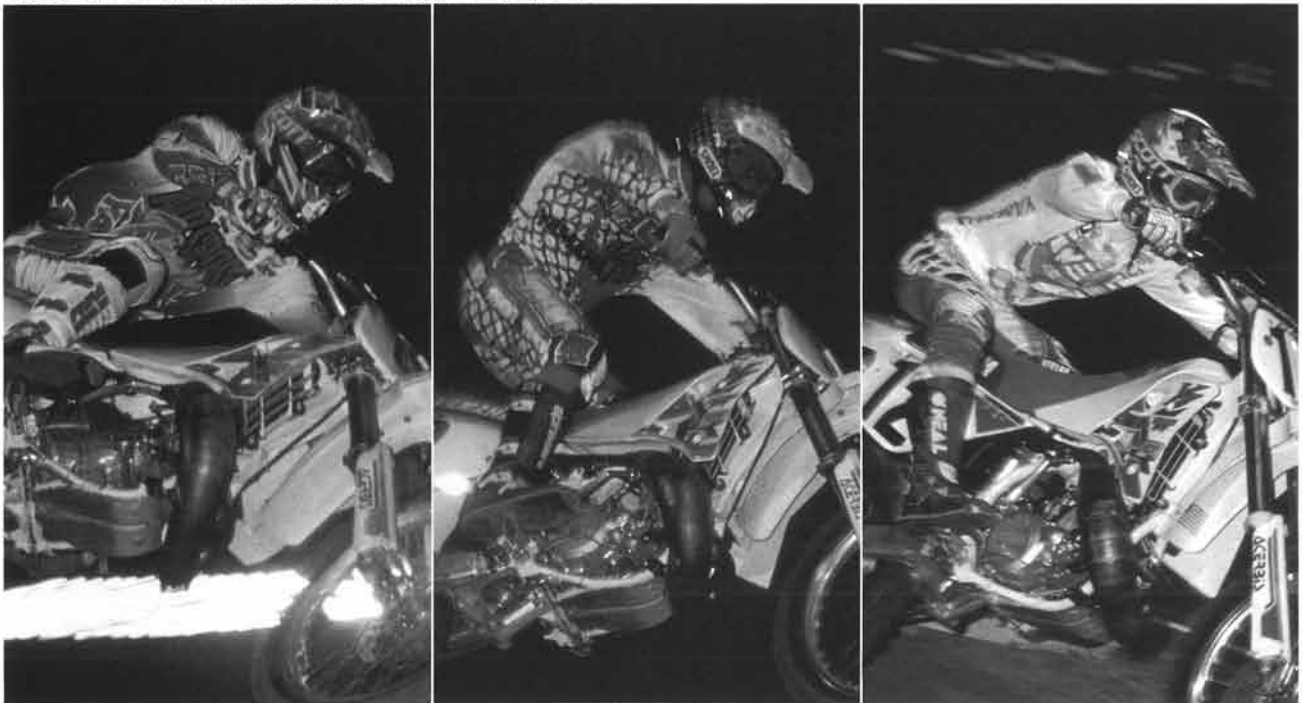
ヒートレースで転倒したものの、セミ
ファイナルをトップでゴールしたブラッド
ショーだが、決勝レースではスタートに
失敗。ホールショットを奪ったのは、そ
のブラッドショーと基本的に同じ仕様の
YZを駆るエミグ。初のフル参戦のシ
ーズンとは思えない走りでもトップを快走。
10周目にラロッコにかわされその後転倒、
後続にあてられ9位に落ちるが「今日の
レースで自信がついた」と表情も明るい。
出遅れたブラッドショーは4周目に転



カラリングもかわり、仕上がりの上々のUSヤマハの'92YZ250M

倒。その後の追い上げで
4位まであがるが、そこ
でチェッカー。デュバッ
クがこれに続いた。「レ
ース内容は最低。でも、
バイクの仕上がりは良く
とても速い。自分自身も
トップランクの走りがで
きることがわかって良か
った」とレース後にコメ
ント。昨年のような悩み
やプレッシャーもないよ
うだ。
またブラッドショーの
コメントにもあるように、
ヤマハチームはマシンの
仕上がりは良く、問題を
かかえる他チームとは対
象的に雰囲気も明るい。
結果は決して満足はいく
ものではないだろうが、
手応えは十分につかめた
ようだ。

明るい雰囲気の中かで開幕を迎えた、ブラッドショー、エミグ、デュバック(左から)



Racing RExpress



新チーム体制発表

ネスカフェ CANレーシング チーム/ヤマハ 発足

89年の「ネスカフェアメリカナレーシングチームヤマハ」の発足から4年、今シーズンは「ネスカフェ・CANレーシングチーム ヤマハ」として、全日本250ccクラスに参戦する。

ライダーはもちろん原田哲也。A級昇格4年目の今年は、さらにポテンシャルをアップさせた'92TZ250Mを駆り、初のタイトル獲得を狙う。

1月22日、都内のホテルで行われた発表会で原田は、「今年は攻めのレースがしたい。マシンの仕上がりもはやく、自分の好みになってきた」とコメント。

鈴鹿のテストでもセッティングをしただけの約1時間程の走行で、レコード並みのタイムもでてくるだけに、今シーズンの活躍が楽しみだ。



「今年はいい年にしたい」とタイトルに意欲的な原田

'92キリンメッツレーシングチームヤマハ

こちらもチーム結成4年目を迎える「キリンメッツレーシングチームヤマハ」体制は昨年と同じ、500ccクラスに藤原儀彦、250ccクラスに福智孝を起用。

3年ぶり4度目のタイトルを狙う藤原は、グレイプフルーツをイメージしたグリーンカラーの'92YZR500。福智はグリーンをイメージしたパールカラーの'92TZ250Mを駆り、全日本にフルエントリーする。

「昨年はもう1歩のところでタイトルがとれず、本当に悔しい思いをした。今シーズンこそ、タイトルを奪い返したい」と、はやくもタイトル獲得を宣言。また福智も、「今シーズンも起用されて、うれしい気持ちで一杯。今シーズンこそチームのために好成績を残したい」とコメントした。

また、同チームは鈴鹿8時間耐久への参戦も意欲的で、昨シーズン同様、レースシーンを面白くしてくれるだろう。



*より速く より強く*をテーマに、頂点を目指す藤原(左)と福智



親父の背中に抱きついてた頃から
ビッグバイクは憧れの対象
やっと手に入れることができました



濱田 賢さん No.11301131811091029

(21歳・左官業) 免許歴・5年

所有車：VMAX1200

登録店：YSP 江東西 (東京都江東区)





町乗り派からツーリング派へ、限定解除とともに濱田さんのバイクライフも変わってきた。1ヵ月平均1000キロ以上のハイペース

ヤマハテクニカルセンター（静岡県・掛川市）で開講している『YBS・ヤマハビッグバイクスクール』の人気を紹介するまでもなく、いまビッグバイクを目指して限定解除試験にチャレンジするライダーが着実に増えている。非常に難かしいとされるこの試験にこれだけの人気が集まるのは、とりもなおさずビッグバイクの魅力に依るところが大きい証拠だろう。

濱田賢さんもそうした魅力に取りつかれたひとりである。16歳で中型免許を取得し、TZR250、FZR400Rと乗り継いだのち、9回目の試験でようやく合格。念願の大型免許とともに長年の夢だったVMAX1200を手に入れた。

「小さな頃から親父が大型車に乗っていて、よくタンデムシートに乗せてもらってたんですよ。すごく気持ち良かったし、まわりの人の視線が熱かったのを覚えてますね。

だから僕も「大きくなったらでっかいバイクに乗ってやろう」と、親父の背中に抱きつきながらいつも思ってたんですよ。親父みたいにカッコ良く走りたいと」

ビッグバイクにまたがってからは、濱田さんのバイクライフは様変わりした。TZR250、FZR400Rに乗っていた頃にはあまり興味なかったツーリングにも、最近は週末になると出かけるようになっていく。1ヵ月の走行距離は、軽く1000キロを超えてしまっている。

「走りに余裕ができたというのかな、ガンガン走るだけじゃなくて、まわりの風景を楽しめるようになりましたね。それにツーリングの旅先で知らないライダーからよく声をかけられるようになったんです。これもVMAXの

おかげなんじゃないかな」

一方、濱田さんの限定解除をバックアップした野沢圭一店長（現YSP三ノ輪店長）も、苦勞の末の合格ゆえに手離しの喜びよう。

「こういうふうにお客さんがステップアップしていくことで、他のお客さんの励みになると思うんですよ。濱田くんの姿を見て憧れて、それじゃあ俺も」という人が必ず出てくるものです。店にとってもメリットは大きいですよ」と話している。

ゆとりあるビッグバイクで、のんびりと大人のバイクライフを楽しむ濱田さん。難かしい試験を突破することで運転技術も向上、しかも安全運転にいままで以上に気をつけるようになったという。濱田さんの例をあげるまでもなく、グッドライダーの育成という課題には、ビッグバイクライダーへの支援も有効な手段のひとつといえるだろう。



「他のお客さんの目標になる」と野沢店長。カウンターでの会話も、自然と限定解除に移っていく



店舗経営は財布の紐と勝負!

ビジネスをお店のカラーにした店主の奮闘

YOU SHOP イヌイ堺店

大阪府堺市中百舌鳥町6-849-1 ☎0722-59-9582



**ショップ運営の要、経営
お店の個性をどう活かすか**

サービスの向上や、店舗スペースの工夫。ショーアップや遊びの提供……ショップオーナーが考えなくてはならないことは山ほどある。

こうした様々な要素は、経営というまな板の上で料理される材料。材料の組み合わせと味付けで、お店ごとの味が決まる。材料の一つひとつをどう選び、どう活かすか。調理次第でお店の個性が発揮される。

さて、材料にこだわることは大いに結構。しかし、どんな材料もしっかりしたまな板があつてこそ調理できるものだ。経営というまな板、基盤。今回のハローナイスショップは、経営を含めた商売に力を注ぐショップを訪ねた。

うかがったのは「YOU SHOP イヌイ堺店」さん。大阪府でも新興著しい、堺市にある。

「南海電鉄・高野線の白鷺駅からならすぐですわ」

電話でお聞きした道順に従い、駅前道路をまっすぐ歩く。200メートルほど歩いたろうか、国道にぶつかる交差点の角に「YOU SHOP イヌイ堺店」さんはあつた。立地はきわめていい。

店が面するメインストリートは国道310号線。堺市の中心部と、ベッドタウンの大阪狭山市や河内長野市を結ぶ街道だ。朝夕には通勤・通学の流が絶えない。しかも、国道を挟んで

ハローナイスショップ
Hello
NICE SHOP
 気になるお店のご商売



交通量が多い店頭にもJOGがズラリ。歩道にはみだすことなく、キチッと並べられている



スポットライトと蛍光灯で、外からでも目立つヘルメットコーナー



「店の前を通ったら、ヘルメットがたくさん並べてあったから」と飛び込んでくるお客さんも多い

向かいには、大阪府立大学がある。道路から見ると白い店舗がまぶしい、明るいイメージである。広いガラス部分の採光もいい。

「こんにちは」と言葉をかけ、中へ入るといきなり、「いらっしやい！」ガラス戸がピリピリ震えるような、威勢のいい声が返ってきた。

店舗の事務所スペースには恰幅のいい主人がひとり。ちよつとよれたジーンズに赤ら顔。トーンの高い声。店主の乾道和さんは見るからに商売人のエネルギーを発散させた風貌の持ち主だった。

**大量の商品を置くことで
割安感を演出**

イヌイモーターズは昨年1月、YOSHOPになった。同時に店舗の改装も行なっている。店舗は外から見る以上に明るく、クリーンなイメージが強い。クリーン、というよりは素っ気ないほど整然としている、というべきか。

店舗内をしばらく見回してようやく気付いた。スクーター、それもジョグばかり10数台が壮観なほど一列に並べられている。飾りや装飾はヤマハのツール類だけ。バイクショップ、という

よりはスーパーマーケットの日用品コーナーといった感じだろうか。

私たちの戸惑いを見て取ったのが、乾さんは大阪の商売について話を始めた。

「大阪の商売は、商品を大量に置くんです。とにかく、商品、商品、かっこいいディスプレイではお客さまを呼べないんですわ」

大阪の商売感覚では、商品を大量に見せることから始まる。並べられる商品が多ければ、一つひとつの商品の価格が高くても財布の紐は緩くなる、という。

「同じような価格の商品が多いと値札

の値段に鈍感になるんです。たとえば高級な果物。一個何千円もするくたものがぼつんと一つ置いてあったら、なんや、高い」となる。でもな、それがショーケース一杯に置いてあったら高いと思いませんか？」

プティック感覚にショーアップしてバイクにステータスをプラスして売る方法がある。しかし、その対局として割安感で売る方法もあるのだ。

そう言われると、ビジネスライクでスーパーマーケットの一コーナーのようなショールームも納得がいく。簡単なショールームは、新車のスクーターを売る店としてのカラーなのだ。

**用品の売上げは立地を活かし
新鮮味で勝負**

同店はスクーターを中心に順調な売上げを記録している。その伸び率は年におよそ3割アップ。しかし伸び率が好調なのは車両本体だけではない。このお店ではヘルメットの売上げが個人商店としては驚くほど多いのである。

このお店で売れたヘルメットの数は、昨年1月から7月までの7か月でおよそ200個。しかもこの7か月には改装で休業していた2か月が含まれているという。1年間の予想売上げはたぶ

大阪の商店ではディスプレイにこだわるより、大量の商品を置く品物が多いことで、高い商品も割安に感じるんです



「おっちゃん、たのむわ」「しゃあないな」世間話のような軽快なテンポで商談が進む



スーパーマーケットの生鮮食料品コーナーでは細心の注意を払う 商品をいつまでも置いてしまおう気楽な商売から脱皮しないとね



長男の和雄さんが営業なら、次男の祐三さんはサービスを担当。ヤマハ奨学生制度の卒業生

「まず、外にアビールすることでしょうね。うちの店は交差点に面していますから、そのメリットを活かします」
シヨールムスペースのどこにヘルメットを陳列するか。乾さんは交差点で止まるクルマに目を付けた。信号で止まるドライバーは前か横、どちらかを見ている。ドライバーの視界に引っ掛かる位置にヘルメットコーナーを移動したのだ。
ヘルメットの存在で気を引いたら、次の作戦だ。
「陳列する商品は各メーカー取り混ぜ

ん600個はいつているだろう。何度言うが、決してきらびやかなお店ではない。ヘルメットを大量に売ってお店には見えないのだ。このヘルメットの売上げにはなにかマジックでもあるのだろうか？
種類を多く置きます。新しい商品があれば、とりあえず取り寄せてね。ウチでの主力モデルはあくまでヤマハヘルメットですが、対抗メーカーのものも取り揃えて、あえて比較させるんですよ……」と長男の和雄さん。
和雄さんがこう話したところでお客さまが来店した。ちよつとお手並み拝見といくことにしよう。
見ていると他メーカーも含めていくつも試着させている。合間にはもちろん内装の説明も忘れない。
あれよあれよという間にお客さまはヤマハのヘルメットを手に戻っていった。
それぞれのヘルメットには特徴がある。格好がいいもの、ロープライスが魅力のもの……和雄さんの接客を見ていると、お客さまが何を望んでいるのかを見抜いて、希望にあったものをすすめているようだ。
「ウチでヘルメットが売れるのは、古いモデルも古く見えないように工夫しているからなんや。あの店、古いヘルメットばかり置いてるわ。こう言われなかったためには定期的に陳列を変えて新鮮味を出す。それで古いものからどんどん売れるように仕組んでいくんだ」と乾さんは商売の秘訣を話す。さらに



和雄さん（右）と道和社長は甥店。祐三さんは午後から住吉店に移り、社長の奥さま、恵子さんと2人でお店を支える

続けて、
「スーパーマーケットの生鮮食料品売り場では、古くなったらほかです。ヘルメットはなまじ腐らないからあかん。気楽に商売できちゃうんや。これがバイク業界の悪い点やな」
なんとも耳の痛い言葉だ。
バイクという趣味性の強いものを売る商売では、なかなかビジネスに徹することは難しい。ビジネスとして、自分の店ではバイクをどう売るか。商売というまな板の上で、材料のバイクは調理自在。店主の包丁さばきが今問われているのではないだろうか。

ハーブナイスショップ
Hello
NICE SHOP



■YOU SHOP イヌイ堺店

堺市と近郊のベッドタウン 大阪狭山市、河内長野市を結ぶ国道310号線（高野街道）沿線に立地。国道を狭んだ向かいには大阪府立大学、また南海電鉄高野線の白鷺駅へも200 m程の距離でもあり、店舗前の道路は人、車ともに流れが絶えない。この店舗から車で約20分程の住吉区にも店舗を構え、この2店を家族4人で支えている。

●オープン：昭和53年11月、平成3年1月にYOU SHOPとして新規オープン ●店舗規模：50坪の店舗は将来住居とする予定のある3階建て。現在の店舗スペースは1階のみで、ショールームスペース44坪、接客スペース兼事務所に2坪、サービススペースは4坪 ●展示台数：ショールーム内に新車17台、店舗前のオープンスペースに26台。展示車のほとんどはJOGシリーズ ●商圏：半径3 kmを中心に郊外へ5～6 km ●客層：高校生、大学生が中心 ●クラブ：なし ●営業時間：午前9時～午後7時30分（祝日は午後4時くらいまで） ●定休日：毎週日曜日



開放された入口、全面のウインド。採光状態抜群の明るい店内



ショールーム内は主力商品のJOGがズラリ



ショールーム内のサービススペースは、床材を変えて、しっかりと区分してある



メーカー、種類ごとに見やすく並べられたヘルメットコーナー

The Latest
A/D

A HAPPY NEW JOG-Z.

堂々デビューの'92JOG-Z。こきげんな7.0ps
スーパーZエンジンに、これまたこきげんブレ
ンボ製ディスクブレーキ。後ろ姿もあざやかな
本格派LED採用ハイマウントストップランプ。
ニューカラーもマッチして、街の注目100パーセント。
みたか、どうだ、まいったか、今年もZは街のスターだ。



¥154,000 JOG Z YG550 ●型式 A-379 ●2サイクル・
4ラング室リードインバルブ・排気量 49cc ●最高
出力 7.0ps (7,000rpm) ●最大トルク 0.73kg-m (6,500rpm) ●カラー
リング: カメラグリーン、ブラック、ブルーインジニアリング ●価格
は参考価格です。●価格はメーカー希望小売価格(定価)・送料・消費税
および一部諸料を指し、価格には保険料・税金(含む消費税)・
登録などに伴う費用等は含まれていません。●消費税額は別途計
算のうえ申し受けます。●詳しくは販売店にお問い合わせください。

JOG Z
YAMAHA SCOOTER WITH HELMET TRUNK.

静かにやさしく、いい運転。

●やさしく、やさしい不正燃焼 /
●いつでもどこでも、絶対にない安心感 /
●マフラーの音を抑えて、マフラーを叩いたり、マフラーをはずしたり、レース走行
のときに危険な火花も発生しない。騒音の少ない、みんなに迷惑を掛けません。

見る・見られる・いい運転。

●エンジンは最新のマイゼン /
●カーブ交差点では、スローイングダウン /



人とバイクの美好生活

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社

- 好評のモノトーンに一層の磨きをかけ、年明け一番に登場した『ジョグ』の雑誌広告です。
- そのフットワークの良さがヤングの人気を集め、今や定番ツールとまで呼ばれるほどに街に定着したジョグZを“A HAPPY NEW JOG-Z”のキャッチコピーで表現。
- どうぞ今年も一年、装い新たなジョグZをよろしくお願いたします。

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社